

工雲会会報

発行所
島根県出雲市上塩冶町420
出雲工業高校工雲会

編集発行人
多々納 剛人

印刷所
有限会社 伊藤印刷



工雲会会長挨拶

会長 多々納 剛人

会員の皆さまには、日頃より工雲会の運営に對しまして、一方ならぬご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

令和五年のお正月は久しぶりにコロナによる行動制限のないお正月となり、ご家族おそろいで初春をお迎えになりましたこととお喜び申しあげます。

新年早々開催された第九十九回箱根駅伝競走で、出雲工業高校を昨年卒業した駒澤大学一年の伊藤蒼唯選手が六区で区間賞を獲得し、駒澤大学を総合優勝に導く大活躍を見せてくれました。卒業生・在校生にとっては励みになると同時に、大変誇らしく感じました。今後のさらなる活躍を祈念し、皆さまと共にこれからも応援したいと思いません。

さて、これまで出雲工業高校は、昭和三十七年開校以来、県内外へ一万五千人を超える卒業生を輩出し、ものづくり産業の基盤並びに、地域産業およ

び社会を支える担い手として、多大な社会貢献を果たされていきます。あらためて先達に敬意を表するものであります。

今後、社会はソサエティ5・0の実現によって大きく変化をすると考えられています。その環境を支える人材の育成が工業高校に今、求められています。

今後は、課題解決型の学習機会や、最先端の産業技術を学ぶ機会、DX人材の育成等の充実が求められると思われまます。工雲会の皆さまには、会員相互のネットワークの活用から、企業・大学との連携や交流機会の創出にどうかご協力いただければ幸いです。

在校生の皆さまは、在学中に高い技術の習得と人格を養い、ものづくりが迎える新たな時代の局面に向き合っ、社会からの期待に応えられる人材に育ってもらえるものと確信をしています。

今後も工雲会の運営に對し、ご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝を心よりお祈りし、ご挨拶いたします。

卒業生の活躍

第99回東京箱根間往復大学駅伝

駒澤大学優勝 6区区間賞

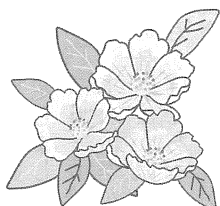
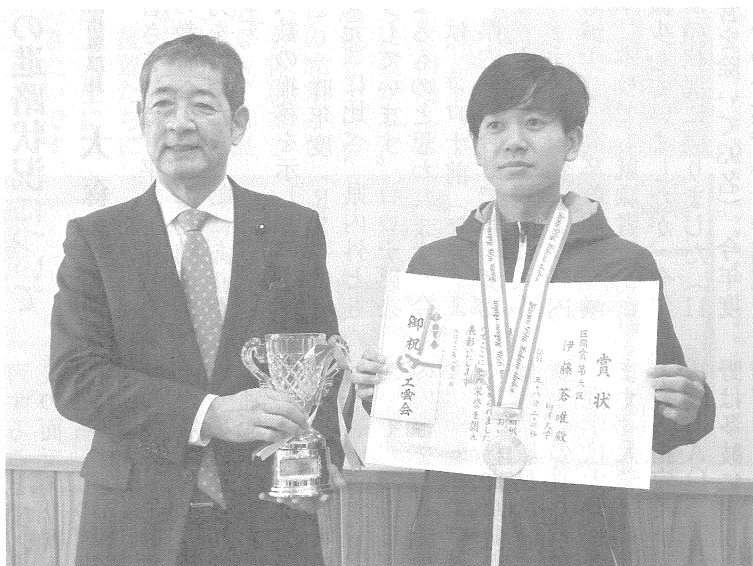
令和4年3月電気科卒業 伊藤 蒼唯君

令和3年度に電気科を卒業し、現在は駒澤大学陸上競技部に所属する伊藤蒼唯君が令和5年1月2日(月)・3日(火)に行われた「第99回東京箱根間往復大学駅伝競走」に出場しました。1年生ながら落ち着いた走りで山下の6区で区間賞を取り、駒澤大

の総合優勝に貢献する活躍をしました。伊藤君の活躍はテレビでも中継され、全国に出雲工業高校の卒業生として活躍している様子が放送され、多くの卒業生や在校生の励みになりました。

これからも体につけますますの活躍を期待しています。

卒業生会として会長の多々納剛人氏から、伊藤君へ激励金を贈呈していただきました。





ご挨拶

校長 佐々木雅典

工雲会員の皆さまには益々ご健勝でご活躍のことと存じます。また、平素より本校の教育活動に格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

この場をお借りして今年度の学校活動および近況をご報告いたします。

令和四年度も新型コロナウイルス感染症と向き合いつながりの学校活動となりましたが、子どもたちの行動にできるだけブレーキをかけないよう工夫し、活動を行ってきました。

部活動の大会等もほとんどが実施され、日ごろの取組の成果を發揮することができました。いくつかの部活動では中国大会や全国大会に出場し、新たな見地を磨いたところであります。進路活動の一環である企業見学では、県内においては例年並み実施し、二年生の県外企業見学では一泊となりまして、宿泊を伴った見学を中国地区中心に実施することができ、子どもたちにとって有意義な時となりました。また、九月下旬には工雲祭（文化祭二日、体育祭一日）を行いました。本年度も文化

祭は保護者のみ、体育祭は三年生の保護者のみの入場人数制限を行う中での実施となりました。しかし生徒による模擬店の復活や保護者による食の販売など、昨年よりは通常に近い形で実施できました。三年生による模擬店では、子どもたちが考えていた以上に様々な難しさや達成感を感じていました。とても良い経験になりました。学問の勉強だけでなく、体験探究学習の大切さを改めて認識しました。その他、一年生の地元企業現場見学（十月）、全二年生によるインターンシップ（十一月）協力会社五十社）など例年通り実施することができ、進路探究にとっても良い経験となっています。本年度は新たな取り組みも行います。例年、三年生の課題研究の発表会は科ごとのみでしたが、本年度は全科合わせた発表を二月十五日に出雲市民会館において行います。各学科二チームずつの発表を全校生徒が視聴します。将来的には、保護者・関係者・地域の方々など、皆さんに視聴していただき、出

雲工業高校の魅力を知っていただく機会にしたいと思っております。新年を迎えてすぐ出雲工業高校にとってまた、工雲会の皆さま、地域の皆さまにとってとても嬉しく良い知らせが舞い込んできました。令和四年三月に卒業した伊藤蒼唯さんが、一月二・三日に行われた第九十九回東京箱根間往復大学駅伝大会で駒澤大学の選手として出場され、駒澤大学総合優勝に貢献されました。ご本人は第六区で区間賞を獲得されました。大変疲れられておられる中、一月六日には本校に凱旋報告に来校され、後輩にエールを送ってください。後輩たちも勇気と力をいただきました。また、工雲会から祝い金が多々納剛人工雲会会長さまより授与され、労をねぎらわれました。多々納会長にはお忙しい中、時間を割っていただき、大変感謝しております。また一つ卒業生の方から大きなエールをいただきました。改めて出雲工業高校の卒業生・在校生・教職員のつながりの厚さを感じた次第です。最後に、会員の皆さまの益々のご活躍と工雲会のご隆盛をお祈りするとともに、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

R4年度の進路状況について

進路指導部長 大森直人

工雲会の皆さまには、平素より、出雲工業高校の教育へのご理解と進路活動へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

図1に求人数の推移を示しています。これによると、一昨年度（R2）はその前年度（R元）に比べ、県内外とも求人数が減少しています。コロナ感染症の影響によるものと思われます。今年度（R4）は、コロナ前（R元）よりも増加し、県内外の合計で昨年度比1.14倍となりました。全国的に人手が不足しています。少子化により県内高校生の数も減少し、高卒就業者も減少しています。本校でも就職者数がこの2年間は減少していましたが、今年度は、3年前の状況に戻りました（11月時点で自営を除いて93名）。今年度の特徴は、一つの企業で多くの職種の求人があったこと、公務員募集が増えたこと、「就職進学」の求人が復活したことです。「就職進学」とは、就職

内定後に上級学校の試験を受け、企業に所属しながら上級学校で学

表1 3年生進路状況（令和5年1月末現在）

科	在籍	就職				自営その他	進学			
		県内	県外	公務員	計		大学	短大 高専	各種 学校	計
機械	32	13	5	2	20	0	4	1	7	12
建築	40	18	1	2	21	1	8		10	18
電気	36	17	13		30	1	2		3	5
電子機械	38	19	2	1	22	1	8	1	6	15
合計	146	67	21	5	93	3	22	2	26	50
	%	72.0%	22.6%	5.4%	63.7%	2.1%	44.0%	4.0%	52.0%	34.2%

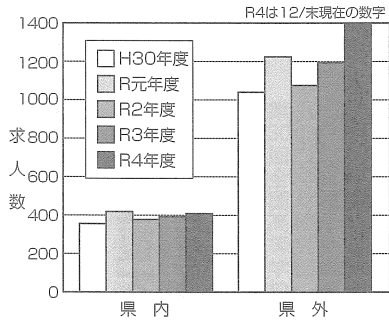


図1 求人状況(H30-R4)

習すること、企業・生徒とも人材育成の面でメリットがあります。今年度は1名がこの制度で就職内定しました。本校の求人倍率は、県内で6.5倍、県外で65.3倍と、年々、求人倍率が上がっており、卒業生の皆さまが県外で活躍されているおかげであると感謝しております。就職者数の減少が気になります。少子化とともに、コロナによる就職の先延ばしがあるのではと思います。学習活動や進路指導において、できるだけ多くの企業や仕事の内容を知る活動を行うことが重要です。一方、公務員は前述のように、多くの職種で募集がありました。今年度は、県職員2名、県警察官2名、自衛隊1名の計5名が合格しています。進学は大学や各種学校に合格しています。大学は、ほとんどが学校推薦型選抜（指定校制、公募制）と総合型選抜（旧AO）で受験します。進学の分野は多岐に渡りますが、やはり、工業系が多いです。専門分野の追究や資格取得を目指し、工業系の仕事に就く準備をしています。県内には上級学校が少ないですが、卒業後には県内で働いてほしいと思っています。本校が実施する進路指導は、全学年企業説明会（5月）3年県内企業見学（6月）2年県内企業見学（7月）2年県外企業見学（9月）1年就職ガイダンス（10月）1年県内企業見学（10月）2年インターンシップ（11月）と、企業との関わりを中心として、企業の実施しています。今後も企業の方には大変お世話になります。新しく工雲会に入会する卒業生並びに在校生にご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願いたします。

弓道部



弓道部は男子23名、女子5名の計28名で活動をしています。私たちはとても仲が良く、お互い声を掛け合いながら切磋琢磨して弓を引いています。

令和4年度の選手権大会では、男子団体戦で優勝し、全国選抜大会に出場することができました。全国大会の結果は、決勝トーナメント1回戦目で敗退という悔しい結果で終わりました。今後の抱負は、インターハイでベスト8入りすることです。全国選抜大会での悔しい気持ちを忘れず、全国に出雲工業高校の名が広まるように頑張っていきます！

アーチェリー部

今後の抱負

部長 山本航希

アーチェリー部の今後の抱負は、部員みんな楽しんで活動すること、そして全国大会に出場し決勝トーナメントに進出することです。まず、活動する上で楽しい雰囲気での活動しなれないかなか全体のモチベーションが上がらないと感じています。また、県内にはアーチェリー部のある高校が少ないため、全国インターハイや全国選抜大会への出場チャンスが大きいのも魅力ですが、全国大会に出場できても、決勝トーナメント進出が果たすことができません。悔しい思いをしています。筋力トレーニングと正確な行射のバランスを取って技術を高めていき、是非とも全国の上位で競い合っていきたいです。



令和4年度 島根県高校総体 団体優勝

空手道部

男女力を

合わせて！

平成29年に正式に1部部活動として昇格した空手道部はその後順調に成長を続け、毎年男女合わせて約15名程度の部員が活動しています。大会では県大会優勝などの好成績を残し、本校の発展にも貢献しています。今後は悲願である「全国高校総体出場」を目指し、部員一丸となって取り組んでいきます。応援よろしくお願ひします！

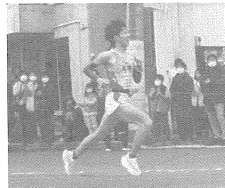


陸上競技部

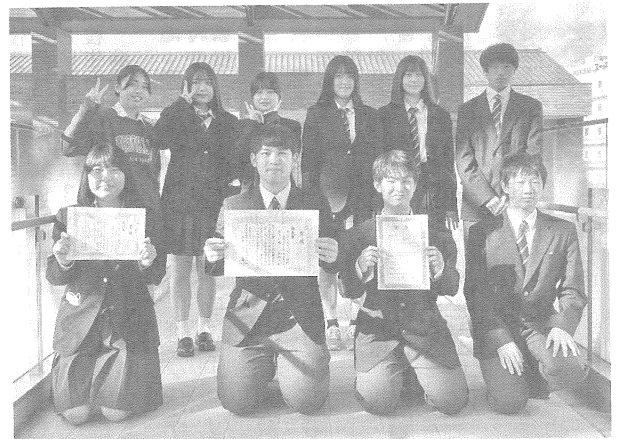
大会報告

部長 多原大和

私は島根県の代表選手として第28回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に出場しました。初の全国の舞台で、一人に抜かれたものの三人抜きの走りで二つ順位を上げることができました。日頃の練習の成果と仲間を信じ自信を持って走ることを体現できました。有終の美を飾ることができ、島根県のユニフォームを着て走ることができたことにとても誇りを感じています。この貴重な経験をチームに持ち帰り、後輩たちに繋いでいくのと同時に自分の陸上人生にいい影響をもたらすようにしていきたいです。応援ありがとうございます。



放送部



今年度、放送部は2つの全国大会に出場しました。1つ目は「全国NHK放送コンテスト」で、4つの部門に出場しました。残念ながら賞を獲得することは出来ませんでした。研究発表という部門では、練習の成果を十二分に出すことが出来ました。2つめは「全国総合文化祭 放送部門」で、ビデオメッセージ部門に「棚田と共に受け継がれる風景」を出品しました。結果は1番良い賞である【優秀賞】を獲得することができました。今後とも放送部の応援をよろしくお願ひ致します。

令和4年度 主な部活動報告

2022年度鳥根県高等学校総合体育大会結果

男子総合 (Aグループ) 第11位 (45点) A・規模の大きい学校から24校 女子総合 (Bグループ) 第8位 (6点) B・規模の大きい学校から23校 男女総合 (Aグループ) 第16位 (51点)	陸上競技 男子800m 4位 E2 布野新太郎 2分01秒 男子1500m 3位 M3 多原 大和 4分01秒 男子5000m 4位 M3 多原 大和 15分21秒 男子3000m障害 5位 S3 松浦 悠太 10分07秒 ※上記のうち6位以内の者は中国総体に出場。	剣道 男子団体 1回戦敗退 男子個人 M2 宮本 英幸 1回戦敗退 S2 周藤 奏 1回戦敗退 A2 飯國 優菜 1回戦敗退 A2 杉原 侔歩 1回戦敗退	柔道 男子団体 1回戦 出雲工業 1-4 松江工業 男子個人 60kg級 ベスト8 M1 荒木 友寛 S3 原田 太郎 ベスト16 M1 荒木 友寛	サッカー 1回戦 出雲工業 1-1 松江東 PK (3-4) バスケットボール 1回戦 出雲工業 72-59 大田 2回戦 出雲工業 54-112 松江西	ソフトテニス 個人戦 ベスト24 E3 前田 凌太・E3 小村 優斗 団体戦 1回戦 中国大会出場 パレーボール 2回戦 出雲工業 2-0 出雲 準々決勝 出雲工業 0-2 安来 アーチエリー 男子団体 優勝 (M2山本 航希、S3中山 輝、S2日野 聖) 1343点 男子個人 優勝 M2 山本 航希 480点 3位 S3 中山 輝 443点	弓道 男子総合 5位 男子個人 入賞なし 女子個人 入賞なし 男子団体 入賞なし 女子団体 入賞なし 卓球 男子シングルス E3 馬庭 大樹 3回戦敗退 (ベスト64) 男子ダブルス M3 平野 信ノ介 E3 馬庭 大樹ペア 3回戦敗退 (ベスト64) 男子学校対抗 1回戦 出雲工業 3-1 大社 2回戦 出雲工業 0-3 出雲北陵
--	---	---	---	--	---	--

自転車競技

男子総合 1位 トラック競技 1kmタイムトライアル 1位 坂本 浩太郎 スプリント 2位 坂本 浩太郎 ケイリン 1位 坂本 浩太郎 4km速度競走 3位 坂本 浩太郎 ポイントレース 2位 坂本 浩太郎 スクラッチ 3位 坂本 浩太郎 3km 1位 坂本 浩太郎 チームスプリント 3位 坂本 浩太郎 4kmチームパシユート 1位 坂本 浩太郎 ロード競技 2位 坂本 浩太郎 女子2km 3位 坂本 浩太郎 女子5000m 1位 坂本 浩太郎 女子スプリント 1位 坂本 浩太郎	空手道 女子団体形 第2位 女子団体組手 第3位 男子団体組手 第2位 女子個人形 A1 生和 春乃 第5位 A3 矢倉 未来 ベスト8 A1 藤江 ゆめ ベスト8 A3 武田 龍雅 ベスト8 M3 大島 稜也 ベスト8 M2 高見 京依 ベスト8	野球部 2022年度鳥根県高等学校春季野球大会兼 第137回春季中国地区高等学校野球大会鳥根県予選 中部地区予選 出雲工業 0対6 大東 第104回全国高等学校野球選手権大会鳥根県大会 1回戦 出雲工業 2対9 出雲西	放送部 令和4年度第58回鳥根県高等学校放送コンテスト 兼第69回NHK杯全国高校放送コンテスト鳥根県大会 創作テレビドラマ部門 「With You」あなた達とともに」 優秀賞 全国大会出場 「おはけ?それとも...」 上位入賞ならず テレビドキュメント部門 「ICTと共に」 優秀賞 全国大会出場 ラジオドキュメント部門 「保くまもる」 優秀賞 全国大会出場
--	--	--	---

2022文化系部活動大会結果

研究発表 「コロナ時代のドラマ撮影法」

最優秀賞 全国大会出場 第46回全国高等学校総合文化祭 放送部門 ビデオメッセージ部門 「棚田と共に」受け継がれる風景」 優秀賞 第26回鳥根県高校総文祭放送部門鳥根県大会兼第47回 全国高等学校総合文化祭かこしま総文鳥根県予選兼第8回 中国地区高校放送コンテスト山口大会鳥根県予選 ビデオメッセージ部門 「神楽の輪」 最優秀賞 全国大会出場 ビデオメッセージ部門 「逆境こそ楽しんで生きろ」 奨励賞 オーディオメッセージ部門 「若きに継ぐ 伝統の舞」 優良賞 中国大会出場	美術部 第60回鳥根県高等学校総合体育大会ポスター審査 優秀賞 S2 小川 沙月 第55回鳥根県高校美術展 絵画の部 入選 S2 小川 沙月 A2 原田 希弥 ものづくり研究部 機械系 令和4年度 中国地区第7回高校生溶接技術 （圧力容器）競技会 鳥根県予選 圧力容器競技 第1位 岡田 凜 第4位 初野 沙希	中国地区大会出場 令和4年度 高校生ものづくりコンテスト （溶接作業部門）中国地区大会 中国地区第7回高校生溶接技術 （圧力容器）競技会 圧力容器競技 第9位 岡田 凜 第3位 初野 沙希 令和4年度 高校生ものづくりコンテスト （旋盤作業部門）鳥根県大会 第3位 船木 翔平	ものづくり研究部 建築系 令和4年度 高校生ものづくりコンテスト 木材加工部門 鳥根・鳥取大会 第1位 池田 直輝 第2位 米江 翼	ものづくり研究部 電気系 令和4年度 高校生ものづくりコンテスト （電子回路組立部門）中国地区大会 電子回路組立部門 第6位 佐野 興輝 ものづくり研究部 電子機械系 第30回全国高等学校ロボット競技大会鳥根県大会 IZKO 八咫鳥 (いずこう やたがらす) 2位 IZKO 天 (いずこう あまつ) 4位 第30回全国高等学校ロボット競技大会青森大会 IZKO 八咫鳥 (いずこう やたがらす) 49位 吹奏楽部 第63回全日本吹奏楽コンクール鳥根県大会 高等学校小編成の部 銅賞
---	---	--	---	--